

景観チェックシート（参考：A1エリア・建築物の建築等）

全エリア共通の景観形成目標及び景観形成基準

景観形成目標 五大堂などからの眺望景の価値を守り、その魅力を高めてゆく

要素	景観形成基準	チェック内容または景観形成のために配慮したこと
	この眺望景の形成にかかわる建築物の建築は、その景観的価値を損ねないよう形態・色彩・その他の意匠に配慮し、必要に応じて修景等を施すこと。	特に配慮したこと（具体的に） <i>建物の形状を周辺の建築物に合わせ、切妻屋根に真壁造りで和風を意識した。</i>
	建築物の屋根の形態は勾配屋根とし、素材は光沢のないもので、色彩はマンセル値のN0～N5の黒色または暗灰色を基本とすること。	特に配慮したこと（具体的に） <i>屋根は4寸5分勾配の切妻屋根とし、光沢の無い黒色(N3.5)のガルバリウム鋼板屋根とした。</i>
	陸屋根とする場合は相応の理由がある場合のみとし、その場合、色彩等の工夫により景観に及ぼす影響を抑制すること。	特に配慮したこと（具体的に）
	建築物の屋根に太陽光発電設備を設置するときは、光沢を抑えた黒色タイプとすること。陸屋根を除き、勾配は屋根面に一致させ、屋根と一体的に設けること。	特に配慮したこと（具体的に） <i>設置無し。</i>

全エリア共通の景観形成目標及び景観形成基準

景観形成目標 門前に形成された市街地として、人々の集う空間形成を通じて、和風の風格と賑わいの感じられる景観まちづくりを目指す

特に1階部分を中心に、高さの揃った庇、下屋庇等により連続性を高めつつ、屋内外をつなぐ中間領域の形成や、覆屋や屋外テラス等により駐車場を含めた空地スペースの活用、1、2階壁面の色彩・意匠や屋根の形態・色彩・意匠による連続性の向上や調和感の向上などを図り、景観の向上に努める

敷地条件に制約の多い建築物も多く、どのようにして景観向上を図るかは場所によりまちまちである上、その景観向上には近隣の協力が不可欠であるため、届出から協議・審査の場を通じて関係者間のコミュニケーションを促し、協調的な関係の構築を目指す

要素	景観形成基準	チェック内容または景観形成のために配慮したこと
標準とする建築モデルタイプもしくはデザインコード	I 現代和風建築A1エリアタイプ(屋根・庇などは4寸5分勾配) III 伝統和風建築タイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 現代和風建築A1エリアタイプ 【外壁】基調色（マンセル値）： <i>N9</i> (<input checked="" type="checkbox"/> 基準内 □ 基準外) その他の色（マンセル値）： <i>5YR3/1</i> (<input checked="" type="checkbox"/> 基準内 □ 基準外) <input type="checkbox"/> 伝統和風建築タイプ 【外壁】基調色（マンセル値）： (□ 基準内 □ 基準外) その他の色（マンセル値）： (□ 基準内 □ 基準外) <input checked="" type="checkbox"/> 屋根・庇などは4寸5分勾配とした。 特に配慮したこと（具体的に）

要素	景観形成基準	チェック内容または景観形成のために配慮したこと
屋根の色彩	黒色～暗灰色	<input checked="" type="checkbox"/> 屋根の色彩は黒～暗灰色とした。 基調色（マンセル値）： <i>N3.5</i> (<input checked="" type="checkbox"/> 基準内 <input type="checkbox"/> 基準外) その他の色（マンセル値）： (<input type="checkbox"/> 基準内 <input type="checkbox"/> 基準外) 特に配慮したこと（具体的に）
標準とする建築モデルタイプをベースにした建造物・敷地デザインの地区別基準	来訪者の視点に立ち、周辺やアプローチからの多様な見え方に配慮すること。 その上で、周囲・背景・並びあるいはその将来像などに調和し連続性を生み出すよう努めること 立谷川沿いなど建物裏が揃って見える部分にも配慮すること。	特に配慮したこと（具体的に） <i>下屋庇を隣接する建築物と高さを合わせて設置した。</i>
修景整備	建築物と一体となった壁面広告等は撤去すること。 庇や下屋、雁木を設置するなど、賑わいの創出に努めること。 駐車場のサイン類の整序化に努めること。	<input checked="" type="checkbox"/> 壁面広告は設置していない、または、撤去した。 <input checked="" type="checkbox"/> 庇や下屋、雁木などを設置し、賑わいの創出に努めた。 <input checked="" type="checkbox"/> 駐車場のサイン類の整序化に努めた。 特に配慮したこと（具体的に） <i>広告物は袖看板、暖簾、太鼓幕、立て看板（駐車場）のみとし、形態意匠・色彩などの調和に努めた。</i> <i>下屋の半屋外空間にベンチを設置し、賑わいの創出に努めた。</i>
駐車場の転用など広場状空間の形成	覆屋や屋外テラスを設置（和風の建築物と調和した色彩・意匠、派手なものとならないよう彩度を抑えた色彩とし、可能な限り自然素材を活用する）するなど、賑わいの創出に努めること。 広場の舗装並びにデッキを設置するなど、広場状空間の形成に努めること。	<input checked="" type="checkbox"/> 覆屋や屋外テラスを設置し、賑わいの創出に努めた。 <input type="checkbox"/> 広場の舗装またはデッキなどを設置し、広場状空間の形成に努めた。 特に配慮したこと（具体的に） <i>駐車場の一部に四阿とテーブル、ベンチを設置し、休憩及び飲食のスペースを設け、賑わいの創出に努めた。</i>
その他建造物や敷地のデザインに関わる配慮事項	軒下や覆屋などの下部は木の部材を見せるよう努めること。 3階以上の部分を目立たせないよう努めること。 屋外設備は囲いなどによって修景するよう努めること。 自動販売機の色は焦茶色を基本とすること。 建物と建物との間（スリット）などから背景の自然が見える場合、その見せ方にも配慮すること。	<input checked="" type="checkbox"/> 軒下や覆屋などの下部は垂木現しとするなど、木の部材を見せるようにした。 <input type="checkbox"/> 3階以上の部分を目立たせないよう工夫した。 <input checked="" type="checkbox"/> 屋外設備は目立たせないよう囲いなどで修景した。 <input type="checkbox"/> 自動販売機の色は焦茶色にした。 <input checked="" type="checkbox"/> 背景の自然に配慮し、建物と建物との間の空間の見せ方を工夫した。 特に配慮したこと（具体的に） <i>軒下は垂木現しとし、腰壁に合わせた色彩で建物全体としての調和を図った。</i> <i>建築物と倉庫の間の空間は、空調室外機を建築物の腰壁に合わせた色彩の建材で囲い、背景の自然を阻害しないよう配慮した。</i>